

2013年4月号 小島薬局漢方堂

パンダ通信

ご愛顧ありがとうございます!!

今月の一言

平素は小島薬局をご愛顧いただき、ありがとうございます。

平成22年から漢方スタッフとして活躍してくれた近澤 武司が、4月末に退社して、実家の漢方薬局に帰ります。実家は瀬戸物で有名な愛知県瀬戸市です。3年間、漢方堂で漢方医学を学び、いよいよ独立する時が来ました。実家の成功を願っています！

さて、新しい漢方スタッフとして、4月1日から、加藤 悅（しゅん）が入社します。今まで静岡の德州会病院に勤務していましたが、漢方医学を学ぶために入社することになりました。漢方医学はこれからですが、爽やかな好青年ですので、どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、4月は新入学、新入社、転勤などのシーズンですね。気持ちが新しくなり、春に植物が成長するように、伸びやかな季節です。軽やかな心で新しいことにチャレンジすると良いと思います。一方、環境の変化がストレスになることもありますので、新ノーゲン、牛黄製剤、人参製剤などを服用して、ストレスに負けない体質を作りましょう！

★新ノーゲンはイチョウ葉エキス、ヤマブシ茸に脳の栄養剤ホスファチジルセリンを配合しています。チうつ～認知症まで、脳のストレスに大変効果的です。

★牛黄清心丸は昔から代表的な高貴漢方薬です。牛黄は脳血流を改善し、脳と心臓の働きを良くします。ストレスで衰弱した方、やる気が出ない方には最高の漢方薬です。

ストレスが溜まつたら、我慢しないで、早目に漢方薬で脳に栄養を与えてください！



春の養生法



やっと暖かくなってきたね。すっかり春ですね。

春は気温が次第に暖かくなり気持ちのよい青空が空一面に広がります。自然界では雪どけが見られ、草木が芽吹き、鳥や昆虫も活動し始めます。

春は四季のはじまりでもあり、何かをはじめられる方や環境の変化がある方が多いことでしょう。何かとせわしなくなり、その変化がストレスになります。

実は、一番精神的にバランスが崩れるのがこの季節！

春はうつ病や不眠症などが発症しやすい季節なのです。

自然現象や四季の移り変わり、人間の内面的なものから肉体的なものなどあらゆるもの関係性を示している中国の五行学説では、春の季節は五臓でいうと『肝』と関連し、感情では『怒』、『風』が原因で病気を引き起こしてしまうといわれています。

中医学でいう『肝』は自律神経と深く関係しています。

すなわち、春は肝に症状が出やすく、ストレスなどにより交感神経と副交感神経のバランスを崩しやすいのです。

日頃から疲れがたまっている人や、冬の養生が不足している方は、『陰』の栄養分が不足しているため、季節の変化とともに陽気が高ぶってくことで、『風邪』が発生し、めまい・のぼせ・不眠・躁うつなどの病気にかかりてしまします。お風呂の空焚きのような状態をイメージして頂けるとわかりやすいかもしれませんね。

日水清心丸や逍遙丸は『陰』を補い『肝』の疏泄をよくし『風邪』をよくしてくれます。また、春はストレスホルモンが長く分泌されやすく、脳の神経細胞が破壊され、不眠やうつが頻発してしまいます。

そんな時は、新ノーゲン や GBE-24（イチョウ葉エキス）が有効です。脳血流をよくするので、アルツハイマー病・パーキンソン病など脳疾患にも大変効果的です。

お客様に一番あったものを
紹介させていただきますので、
お気軽にご相談ください。

